

CASBEE横浜認証制度



横浜市役所新庁舎で 最高位Sランク認証取得

建物の環境性能を格付けする制度（^{キャスビー}CASBEE横浜認証制度）で、
最高位の評価「Sランク」の認証を取得しました。

建物名称	横浜市役所
建築地	横浜市中区本町6丁目50番地の10
敷地面積	13,142 m ²
建築面積	7,941 m ²
延床面積	142,528 m ²
階数	地下2階、地上32階、塔屋2階
最高高さ	155.4m
構造	鉄骨造（柱コンクリート充填鋼管構造） ハイブリッド免震（中間層免震構造+制震構造）
着工	平成29年8月
竣工	令和2年5月
設計施工	竹中・西松建設共同企業体
設計監理	株式会社竹中工務店 株式会社楨総合計画事務所



■整備経緯

横浜市役所新庁舎は、基本構想で定めた基本理念『環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎』、基本計画で定めた整備基本方針『先進的な環境整備・機能導入によるエネルギーコストの削減と環境負荷の低減』を実現するため、CASBEE横浜による環境性能総合評価でSランクの建物を目指し整備を進めてきました。

CASBEE横浜認証制度とは、建築物の計画について、建築環境総合性能評価システム（CASBEE横浜）による評価が、適正であることを認証する制度です。建築主の環境への積極的な取組をさらに促進させるため、希望する建築主に対し、学識経験者による横浜市建築物環境配慮評価認証委員会の評価を踏まえ、環境にやさしい建物として、横浜市が認証するものです。

■ **CASBEE横浜で評価された主な取組**

1 高い省エネルギー性能と細やかな管理や制御による快適な室内環境の実現

ZEB Ready※1、BELS最高ランク★★★★★の高い省エネ性能を確保している。

ダブルスキンによる高い外皮性能の他、隣接する横浜アイランドタワーと連携した地域冷暖房による熱供給や、輻射空調方式、地中熱利用、燃料電池などの導入により省エネ性能の向上を実現している。

また、自然通風のための換気パネルを広範囲に採用した他、執務室の温度や照明をセンサーなどで細やかに管理・制御することで、省エネと快適な室内環境の両立の実現を図っている。

※1：再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物



2 災害が発生しても市民を守る行政活動が維持できる防災・災害対応システムの構築

災害時に基本的な市庁舎機能を維持できる、レジリエンスの向上を図っている。

大規模地震時に建物損傷や什器の転倒を防ぐ「ハイブリッド免震システム」を備え、インフラの供給が途絶えても7日間分の非常用発電機燃料、飲料水、トイレ洗浄水を確保し、市庁舎における業務やサービスの継続を可能としている。

また、主要な電気室、機械室を4階に設置することで、震災だけでなく津波や洪水などの浸水時における被害軽減を図っている。



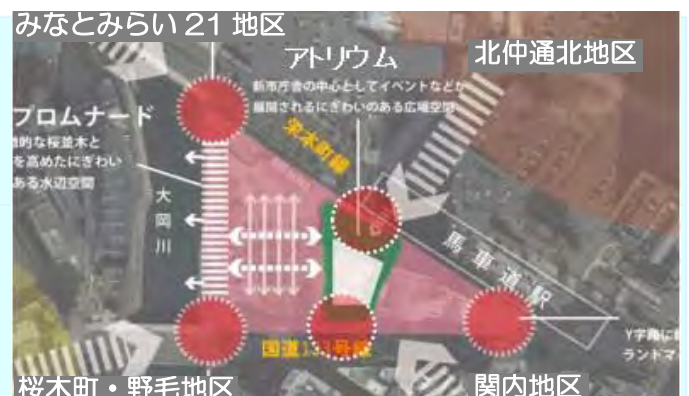
3 まちの賑わいと地域の活性化を促進する豊かなオープンスペースの創出

横浜市と市民との協働・共創の場として、様々なイベント等に対応可能なアトリウム（三層吹抜け：約 1,200 m²）をはじめ、展示スペースや、建物周囲に広いオープンスペースを複数設置し、豊かな市民力の発揮及び地域の活性化の促進を図っている。



4 周辺の主要地区を結ぶ結節点としての立地を活かした動線計画と景観形成

「みなとみらい21地区」「北仲通北地区」「関内地区」「桜木町・野毛地区」の4つの地区の結節点となる立地性を活かし、各地区間のゲート性に配慮した動線計画と景観計画を行うことにより、周辺地区相互の回遊性を高めながら、街全体での魅力向上を図っている。



お問合せ先

建築局施設整備課新市庁舎整備担当課長 菅野 和広 Tel 045-671-3465